

# りんご生育情報(9月号)

【発行】宮城県登米農業改良普及センター

電話 0220-22-8603

令和5年9月14日発行

HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

普及センターのホームページでは、過去の技術情報も掲載しています。お手持ちのスマートフォンなどで右のQRコードを読み取るとホームページへ移動できますので、ご利用ください。



## 1. 気象の推移

8月15日から9月12日までの気温、降水量の推移は図1のとおりです。気温は、平年より高い日が続き、平年値を下回る日はありませんでした。上記期間の平均気温の平年差は+4.6℃となり、気温が非常に高い日が続いています。

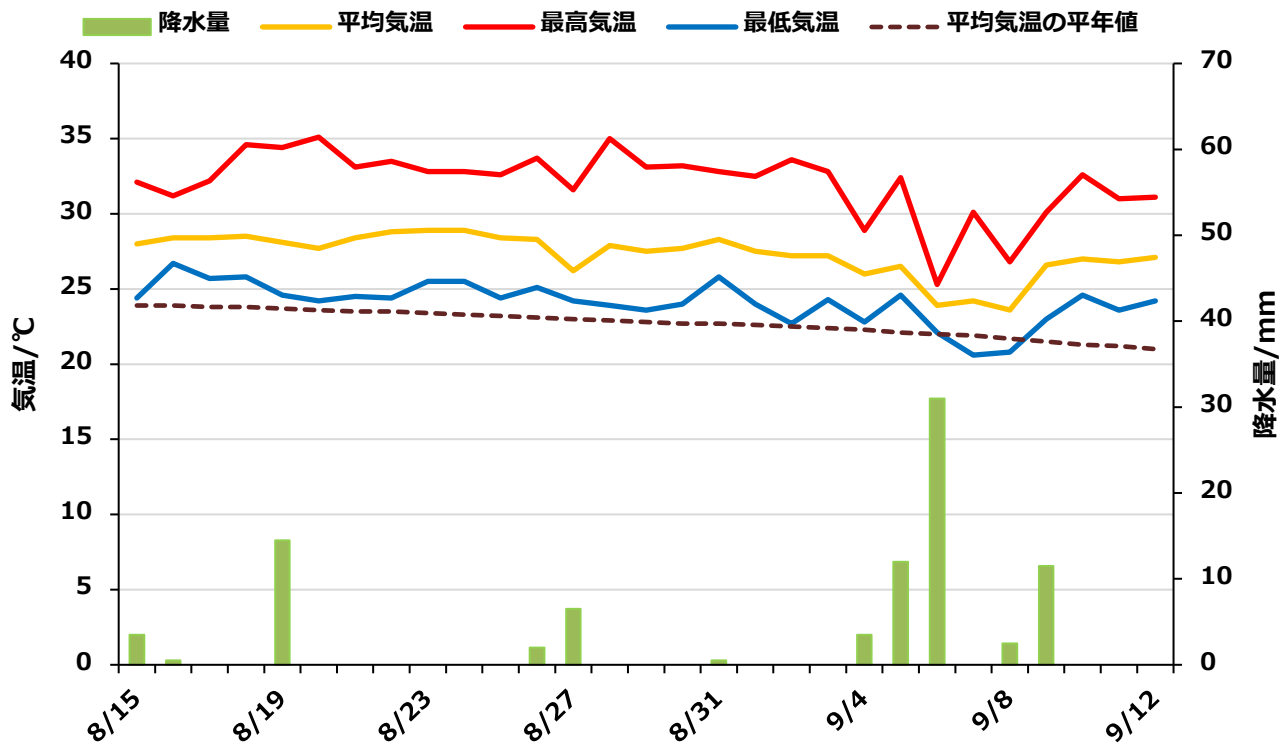


図1 8月15日から9月12日の気温・降水量の推移（アメダス地点：米山）

9月11日に仙台管区气象台が発表した早期天候情報（東北地方）によると、9月17日頃から向こう2週間の気温がかなり高くなる可能性があるとのこと（5日間平均気温差+2.3℃）。

## 2. 果実肥大状況

9月7日現在の「ふじ」の果実肥大状況は、平年と比較して、タテ径 103%、ヨコ径 104%と大きくなっています。

表1 果実肥大調査結果 (mm)

	タテ径	ヨコ径
本年	72.8	81.4
平年値	70.5	78.3
平年比	103%	104%
(参考) ヶ ヨイ外樹	73.5	85.1

※東和町錦織の測定値。ヰ ヨイ外樹は中田町川欠の測定値。





## 🍏 「つがる」で早期ミツの発生がみられています 🍏

「つがる」の収穫が始まりましたが、夏季の高温により果肉の一部が水浸状（早期ミツ）になっている果実が複数の園地で確認されています。水浸部位の褐変も確認されています。早期ミツは夏季の高温によって果肉組織に異常が生じるためだと考えられています。

今後も平年より気温が高い日が続くと見込まれているため、日焼け果の発生を増幅させないよう、摘葉や玉回し等の着色管理は気温の推移に応じて強度を調節しましょう。



写真：「つがる」の障害果

### 3. 病害虫の発生状況

宮城県病害虫防除所が8月28日に発行した発生予報第9号では、褐斑病、ハダニ類、果樹カメムシ類の発生量が「やや多い」と推測されています。また、斑点落葉病の発生量は「平年並み」となっています。

管内では、ハダニ類の発生が確認されている園地がありますので、観察を強化し、多発する前に防除を行うようにしましょう。

表2 宮城県病害虫防除所発生予報第9号（令和5年8月28日発行）

病害虫名	発生量
斑点落葉病	平年並
褐斑病	やや多
ハダニ類	やや多
果樹カメムシ類	やや多

## 🍏 かしょうびょう 火傷病の発生防止に関するお願い 🍏

中国において、なしやりんごの重要病害である火傷病の発生が確認されたため、中国産りんごの花粉等の輸入が停止されました（別添チラシ参照）。

これに伴い、全国的に中国産なし・りんご花粉に関する調査が行われることとなりました。JA みやぎ登米や普及センターが聞き取り調査を実施しますので、御協力をお願いします。

なお、中国産花粉をお持ちの場合は、使用しないようお願いいたします（処分方法については追って連絡いたしますので、保管ください）。

